

令和6年度第3回学校運営協議会

日時 令和7年2月3日(月) 14:00~15:30

場所 下野市立緑小学校 会議室

1. 開会

- ・本日の日程確認

2. 会長あいさつ(田村様)

・個人的に登校・下校指導があまりできずに申し訳なかったのですが、後ほど学校評価でも触れたいと思いますが、保護者教職員ともに協力体制ができていてよいと感じます。最後の協議会となりますがよろしくお願いいたします。

3. 校長あいさつ

- ・日程変更させていただき、ありがとうございました。本日は学校評価についてご意見をいただければと思っております。また、本日は教職員との懇談を予定しています。有意義な懇談の機会になりますようよろしくお願いいたします。6年生の教室前にはカウントダウンカレンダーが設置されていますが今年度も残りわずかとなりました。これまで大きな事故もなく過ごせたこと協議員さんのご協力のおかげです。ありがとうございます。日々の児童の様子などもけやきネットでご覧いただければ幸いです。

4. 協議

(1) 学校経営全般について

(2) 学校評価について

資料をご覧ください。印象として保護者の理解が得られた一年間だったと考えている。設問1について肯定的で、安心して学校に子供を出して頂いている。

設問2についても肯定的で、授業の中では「分かっている」と判断している。

おおむね児童も保護者も学校教育活動について満足しているのではないかと考えている。しかし、毎年課題となるのが「読書活動」についてで、学校ではよく読書したり、図書支援員を中心に読みたくなる仕掛けをしているが、例年低い。祇園小でも同じような傾向があると聞いている。設問5の「思いやり」について子供の評価が下がっている。低学年については、アンケート前後にネガティブなことがあると反映されてしまう。同じ時期に学校生活アンケートも実施しており、こちらは学校は楽しいと答えている。設問6「あいさつ」については、児童、保護者ともに評価が下がっている。小中一貫でのあいさつ運動も実施しているが、あいさつをしている、またはされているという自覚が薄いのではないかと考えている。二中学区全体の傾向である。設問8について評価が上がっている。感染症対策がゆるみ、地域に開かれた行事が多くなってきたからではないかと考えている。「安全」についてはピロティで走ったりボールをついたりすることで指導をしていることが影響している。「外遊び」についても評価が下がっているが、実態は休み時間多くの児童が外遊びをしている。

児童の意見については、緑小の給食については、ほとんどの児童にとっておいしいという感想が挙げられている。「食」が子供たちの心身に多大な影響を与えている。その他、先生は優しいなどの肯定的な意見が多かった。また、学校のスローガンを高学年中心に意識しながら浸透しており、スローガンを目指して学校生活を送っている。

保護者の意見について、歯磨きについては学校医の助言や日課の都合上、学校で一斉に歯磨きの時間をとることはない。心理士の常駐は難しいが、月1回程度巡回しているので、活用している。放課後の遊び方について、子供同士の約束のみで遊んだり、留守宅に上がって遊んだりすることについて学校で指導して欲しいという要望については、各家庭の状況もあるので一律には指導できないが、他人に迷惑をかけないような指導をしていく。ブロック担任制については、初年度ということもあり、推進状況はあまり進まなかった。朝の会、給食指導など担任以外が担当した。子供たちも担任以外の教員に指導されることには少しずつ慣れてきた。まだまだ課題はあるが、今後も進めていきたい。

小嶋様 評価点としては3.5以上あれば概ね満足と捉えてよいのではないかと。

教員は毎年入れ替わっており、子供の評価は下がっていても、教員の評価は上がっている項目もあり、教員と児童の間にずれがあり興味深い。

外遊びの評価を分析すると、外遊びを好む子と好まない子の二極化の傾向があるのではないかと。緑小に長く居る先生の評価が下がっているとしたら、過重労働などで疲弊しているのではないかと。

山中様 あいさつについて地域を明るくする効果がある。小さいうちから取り組んで欲しい。お年寄り小さい子供とふれ合えることを楽しみにしている。児童と教員の評価は高いのに保護者のみ低い項目については、学校での様子が伝わっていないのではないかとと思われる。

中嶋様 「学校が楽しい」について、児童のアンケートから「楽しい」「明るい」という言葉にあるように、「もっと楽しくなりたい」という気持ちなのではないか。「読書」については、保護者が家でもっと本を読むように指導されていて、まだ読めていないと思ってしまうのではないかと。給食について、下野市は地産地消を取り入れており、使っている素材がよいので、子供たちは良さを分かっているのではないかと。児童からの要望についての回答はどのようになっているのか。⇒一つ一つに回答することはないが、指導の中で回答につながることを伝えている。⇒子供たちに何かしらの形で子供たちに返していくと子供たちにも先生達のがんばりが伝わるのではないかと。保護者からの意見、要望の中で、地域の力が弱くなり、保護者同士で子供を育てようという力が弱くなり、その分学校に期待が強くなっていくのではないかと。今後ますます学校が期待される存在になり、大変になってくるので何かしら考えていかないといけない。

石川様 我が子が長くお世話になっている。記念式典でも話したが、あいさつはできるようになってきている。長女のときはコロナ禍だったのであいさつは減ったが、最近

またあいさつできるようになってきている。昔のように気軽にあいさつする環境ではなくなっている。「安全」について、以前はあまり走る子がいなかったということは、最近元気な子が増えてきたのではないか。最近公園にゲームをもって行って遊んでいる。「地域の人との活動」では、地域の人とのつながりが減ってきているので、続けていてほしい。給食について、地域によって残飯が多いところもある。食べる、遊ぶが一番元気の源。

田村様 保護者の評価が低いのは学校での様子が伝わっていないからではないか。読書については、家で読んでいる姿を見せていないから評価が低いのではないか。その他全般的に8, 9割到達しているのではよいのではないか。

5. 職員との懇談

6. 懇談会の総括

Aグループ（山中様）

緑小の給食がおいしいという話題が出た。調理の現場がわかるようにしたり、残飯処理など裏側を見せることにより、おいしく食べられている。お米や野菜など地域で採れているものを使っておいしく食べている。調理している人の苦労などを見せることにより、残さず食べられている。

Bグループ（小嶋様）

アンケートのネガティブな意見について先生方に意見を聞いた。

嫌なあだ名を言うことについては、現場で指導している。体育座りについてはなるべくやめた方がよいという意見を言わせてもらった。外遊びについては、担任をもってなかなか外で遊ぶのは難しい。働き方改革についての意見で、前期の所見がなくなりとても楽になった。児童の下校時刻が15分早くなってよかったなど言っていた。楽できるところは楽にした方がよい。

Cグループ（石川様）

あいさつについてしてないことはない。地域で大人同士のあいさつがあまりないこと、防犯上知らない人にはできないということではないか。先生方もあいさつの大切さについて指導するとのことなので引き続き指導して欲しい。トイレ掃除について大人でもきれいにするのは難しいので、トイレ改修工事が終わったら、きれいを保つ掃除の仕方を指導してほしい。体育館については子供たちの手に負える清掃ではない。学校にいる時間が長い、トイレに行きたくないと言っている子供も居るときいたので、トイレが新しくなったら保てるようにしたい。

7. 次年度について

今後、次年度の委員さんの選出をしていく。来年度の意向を伺いたい。

石川様より連絡

8閉会